

緑川舟運を基盤とした湊町の形成に関する研究

A study on development of river port towns based on the Midori river's water transportation system

熊本大学工学部環境システム工学科 馬場 啓維

1. はじめに

本研究の目的は、緑川舟運に着目し、史料分析と現地踏査によって舟運が流域の湊町の発展に寄与した課程とその実態について論証することである。そこで、緑川流域の地域の特性と流域の湊町の特徴を抽出し、舟運が湊町の発展において果たした機能や流域に与えた影響を明らかにすることである。また、緑川舟運に併設された鉄道に基づいた緑川流域の変化について考察する。

2. 緑川流域の自然と産業

緑川流域の特徴を明らかにするために、まず緑川と流域の地形について調査し、その特徴を把握した。また、流域に根ざした産業について調べ、地域ごとの特徴について整理した。その結果、緑川流域の地域特性として、物流が必要な地域であることが分かった。

3. 緑川舟運を基盤とした湊町の成立とその特徴

緑川流域に湊町が成立し、舟運がその発展に寄与したことを示す。そのためにまず、近代以前の社会基盤整備史をまとめた。次に、主要な湊町の特徴をまとめ、湊町群を結んでいた舟運の役割について考察を行った。

3.1 近代以前の社会基盤整備史

近代以前の緑川流域の社会基盤の形態を把握するため

に、社会基盤整備史をまとめた。その結果、近代以前は舟運が重要な社会基盤であったことが分かった。

3.2 湊町の発展に関する分析

緑川流域にある主要な湊町の発展の要因を分析するために、川尻町、御船町、甲佐町についてそれぞれの特徴を整理した。その結果、近世から近代の湊町の商工業を支えていたのは緑川舟運であることが分かった。

3.3 緑川流域における舟運の役割に関する考察

緑川流域の舟運の役割について、舟運の機能、物流ネットワークの面から考察した。

4. 鉄道開設に伴う緑川流域の変化

鉄道敷設後の緑川流域の変化について考察した。そのために、近代以降の社会基盤整備史をまとめ、鉄道敷設後に起こった緑川流域の物流ネットワークの変化について分析した(図1)。さらに、物流ネットワークの変化に伴う、緑川流域の変化について考察した。

5. おわりに

緑川舟運は、緑川流域の湊町の発展において町の特徴ある商工業に深く関わり、その発展に寄与した。さらに、舟運が基盤となって築かれた物流ネットワークが熊本の発展を支えるものであったことが分かった。

